



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 北陸電気工業株式会社
コード番号 6989 URL <http://www.hdk.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田信治

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部次長 (氏名) 林 良徳

TEL 076-467-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,856	△29.8	△96	—	△402	—	△555	—
23年3月期第2四半期	28,289	68.5	1,470	—	1,075	—	798	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,011百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 377百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△6.26	—
23年3月期第2四半期	9.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,649	11,777	28.6
23年3月期	39,426	13,081	28.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,200百万円 23年3月期 11,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△14.6	450	△80.2	100	△94.1	△200	—	△2.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月9日)公表いたしました「平成24年3月期 第2四半期(累計)業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	92,500,996 株	23年3月期	92,500,996 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,790,989 株	23年3月期	3,774,423 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	88,718,423 株	23年3月期2Q	83,807,889 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国などアジアにおいて成長率に鈍化が見られ、米国は回復ペースが鈍化してきました。また欧州は、財政問題を背景に減速感が強まってきました。

わが国におきましては、東日本大震災の影響による急激な悪化から持ち直しの傾向となったものの、円高進行や海外景気の悪化などから、先行き不透明感が高まってきました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンやタブレットPCなど携帯情報端末の需要が増加したものの、震災により自動車関連需要が減退し、液晶テレビやパソコンなどデジタル家電需要も減速したことから、電子部品需要は総じて減少となりました。

こうした状況のなかで、当社グループは、全般的なコストの削減に努めましたが、受注減による影響を主因に、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19,856百万円（前年同期比△29.8%）、営業損失96百万円（前年同期は営業利益1,470百万円）、経常損失402百万円（前年同期は経常利益1,075百万円）、四半期純損失555百万円（前年同期は四半期純利益798百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子部品は、自動車や家電向けに各品種とも受注が総じて減少し、売上高17,584百万円（前年同期比△31.1%）営業利益357百万円（同△81.5%）となりました。

②金型・機械設備

金型・機械設備は、新規モデル向けの金型需要が停滞したことを主因に、売上高605百万円（前年同期比△16.9%）営業損失22百万円（前年同期は営業損失62百万円）となりました。

③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高1,847百万円（前年同期比△17.3%）、営業利益29百万円（前年同期比△64.2%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が2,086百万円減少し、売上高の減少に伴い、受取手形及び売掛金が660百万円減少したことなどから、3,777百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が980百万円減少し、有利子負債が長期借入金の返済を主体に871百万円減少したことを主因に、2,473百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、四半期純損失555百万円、配当金支払い266百万円、円高に伴う為替換算調整勘定の減少276百万円を主因に、1,303百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました当年度の業績予想につきまして修正いたしました。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成23年11月9日）公表の「平成24年3月期 第2四半期(累計)業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,344	5,257
受取手形及び売掛金	8,434	7,773
商品及び製品	1,103	1,207
仕掛品	3,610	3,157
原材料及び貯蔵品	1,107	1,081
繰延税金資産	709	509
その他	832	539
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	23,111	19,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,430	3,339
機械装置及び運搬具（純額）	4,622	4,183
土地	3,188	3,158
その他（純額）	483	496
有形固定資産合計	11,724	11,179
無形固定資産		
投資その他の資産	213	278
投資有価証券	1,772	1,786
繰延税金資産	1,923	1,974
その他	1,209	1,399
貸倒引当金	△527	△464
投資その他の資産合計	4,377	4,695
固定資産合計	16,315	16,153
資産合計	39,426	35,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,227	8,247
1年内償還予定の社債	50	50
短期借入金	3,954	4,894
未払法人税等	179	196
賞与引当金	358	352
その他	1,813	1,143
流動負債合計	15,583	14,885
固定負債		
長期借入金	6,320	4,509
繰延税金負債	455	446
退職給付引当金	3,358	3,442
その他	626	587
固定負債合計	10,761	8,986
負債合計	26,345	23,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,626	5,626
利益剰余金	1,775	968
自己株式	△684	△687
株主資本合計	11,917	11,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△162	△165
繰延ヘッジ損益	△26	△19
土地再評価差額金	607	594
為替換算調整勘定	△1,038	△1,315
その他の包括利益累計額合計	△619	△906
少数株主持分	1,783	1,576
純資産合計	13,081	11,777
負債純資産合計	39,426	35,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	28,289	19,856
売上原価	24,468	17,778
売上総利益	3,821	2,078
販売費及び一般管理費	2,350	2,174
営業利益又は営業損失(△)	1,470	△96
営業外収益		
受取利息	27	30
受取配当金	17	22
雇用調整助成金	6	43
その他	28	31
営業外収益合計	79	127
営業外費用		
支払利息	104	105
為替差損	243	158
その他	126	169
営業外費用合計	474	433
経常利益又は経常損失(△)	1,075	△402
特別利益		
前期損益修正益	72	—
固定資産売却益	1	25
負ののれん発生益	29	2
その他	23	7
特別利益合計	126	35
特別損失		
減損損失	—	15
固定資産除却損	29	4
投資有価証券評価損	80	8
損害賠償金	76	—
その他	7	1
特別損失合計	193	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,009	△395
法人税等	196	240
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	812	△636
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13	△81
四半期純利益又は四半期純損失(△)	798	△555

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	812	△636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201	△3
繰延ヘッジ損益	1	6
為替換算調整勘定	△235	△377
その他の包括利益合計	△435	△374
四半期包括利益	377	△1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431	△828
少数株主に係る四半期包括利益	△54	△182

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,009	△395
減価償却費	706	764
減損損失	—	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△62
賞与引当金の増減額(△は減少)	112	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	145	83
受取利息及び受取配当金	△44	△53
支払利息	104	105
為替差損益(△は益)	96	25
前期損益修正損益(△は益)	△72	—
固定資産売却損益(△は益)	△1	△25
固定資産除却損	29	4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	80	8
雇用調整助成金	△6	△43
負ののれん発生益	△29	△2
休業費用	7	64
損害賠償損失	76	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,874	682
たな卸資産の増減額(△は増加)	291	288
仕入債務の増減額(△は減少)	△915	△944
その他	266	204
小計	△25	710
利息及び配当金の受取額	44	53
利息の支払額	△104	△105
法人税等の支払額	△85	△59
雇用調整助成金の受取額	6	43
損害賠償金の支払額	△16	△5
休業費用の支払額	△7	△64
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188	572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△177	△833
固定資産の売却による収入	31	69
投資有価証券の取得による支出	△2	△26
投資有価証券の売却による収入	—	3
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	3	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,157	—
定期預金の純増減額(△は増加)	108	120
その他	6	△273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,186	△938

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	637	499
長期借入れによる収入	1,500	254
長期借入金の返済による支出	△1,431	△1,614
リース債務の返済による支出	△157	△96
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△243	△266
少数株主への配当金の支払額	—	△27
自己株式の処分による収入	1,299	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,601	△1,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	△216	△211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10	△1,830
現金及び現金同等物の期首残高	5,806	5,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,816	4,154

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,506	627	26,134	2,155	28,289	—	28,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	101	101	78	179	△179	—
計	25,506	728	26,235	2,233	28,468	△179	28,289
セグメント利益又は損失 (△)	1,931	△62	1,869	83	1,952	△481	1,470

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△481百万円には、セグメント間取引消去54百万円、のれんの償却費△3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△532百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,584	504	18,088	1,768	19,856	—	19,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	101	101	78	180	△180	—
計	17,584	605	18,190	1,847	20,037	△180	19,856
セグメント利益又は損失 (△)	357	△22	335	29	365	△461	△96

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。

2. セグメント利益の調整額△461百万円には、セグメント間取引消去45百万円、のれんの償却費△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△501百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(タイ国洪水による損害の発生)

(1) その旨

タイ国の洪水により、アユタヤ県ハイテク工業団地でモジュール製品を生産しております連結子会社HDKタイヤ
ンド株式会社は、アユタヤ県の退避令に従い、平成23年10月7日から操業を停止していましたが、同月14日、工場敷地内
が浸水しました。

現在は、浸水前に退避していた完成品の出荷を始めておりますが、生産は停止状態にあります。

(2) 被害の状況

建物の1階と生産工程の仕掛品、設備等の一部が浸水しましたが、現時点では被害の把握には至っておりません。
なお、人的被害はありません。

(3) 損害額

想定される資産の被害につきましては、損害保険により、大半が補償される見込みであります。

また、操業停止に伴う従業員への休業補償等の費用につきましては、現時点では明確になっておりません。

(4) 復旧の見通し

年内での復旧を目指しておりますが、その達成は不透明であります。

(5) 当該災害が営業活動等に及ぼす重要な影響

中国、日本にある生産拠点での代替生産を進めており、大きな影響は見込んでおりません。